

関東ふれあいの道を歩く (14) 神奈川 (⑭峰の薬師へのみち)

2019年10月25日池内 淑皓

2019年9月1日(日)暑い、午前中「⑬山里から津久井へのみち」を歩き終えて、午後は引き続き「⑭峰の薬師へのみち」を歩く事にした、あまりにも暑いので、熱中症に注意しつつ自販機で冷たい飲料水を買って、頭に掛けながら歩いた。



(首都圏自然歩道連絡協議会)

関東ふれあいの道を歩く (14) 神奈川 (⑭峰の薬師へのみち) 概念図



城山高校バス停前から京王高尾山口駅まで行程図 (7km 2時間30分の距離)



午前中「⑬山里から津久井湖へのみち」を歩いて、午後はそのまま「⑭峯の薬師へのみち」を歩き継いだ。暑い！アスファルトの照り返しが熱風となって巻き上がる。



水の苑池前を通り、津久井湖記念館を過ぎると道標と、石の里程標があった。



中沢の集落に入ると、村の産土「三嶋神社」に到る。ここから県道を離れて、里山の野道を西に向かって歩く、こっちの方が泥道であるから涼しい。



里道を歩くと、秋の収穫時期が近づく事を知る、遠望は午前中歩いてきた城山



峰の薬師への道は右手に、左は麓にある蓮華寺に到る



峯の薬師に到着、ここは江戸時代には寺院であった、明治の神仏分離令で廃堂となったが、お堂は昭和8年に再建された。昔の鐘撞堂が残る。



「薬師堂」本尊：薬師如来。 武相四大薬師の一つで、明応年間（1492-1501）の創建と伝える



私も峰の薬師で記念にパチリ



薬師堂から見た津久井湖と城山（津久井城址）



ふれあいの道は「奥の院」前を通り、尾根道に出て西に向かう



途中城山湖への道を分けて、防火帯を兼ねた広々とした快適なトレイルを歩く



「三沢峠」神奈川県と東京都の県境

2019年3月三浦半島の剣崎をスタート、2019年9月これから東京都を歩く事になる。



この辺りは、山全体が奥高尾風景林に指定され、貴重な緑が保全されている



高尾には、江戸時代江川太郎左衛門（葦山の反射炉で有名）が植えた杉林が残る



麓に下ると、奥高尾の隠れ里 “うかい竹亭” の前を関東ふれあいの道が通る、京懐石の料亭だ



明るく開けた台地に出る、峰の薬師参道の大看板があるから、高尾側から歩くには良い目印となる。



程なくゴールの梅の木平バス停に着く、本数が少ないから、歩いて高尾山口駅に向かう、2 kmそこそこの距離、20分程で着く。



高尾山に向かうケーブルカー駅への道を見送ると、その先が京王電鉄高尾山口駅



午前中の疲れか、思いのほか時間がかかったが、日暮れ前に無事到着。

[コースタイム]

城山高校前バス停 (13:10) → 三嶋神社 (13:30) → 峰の薬師 (14:15-14:30) → 三沢峠
(15:05-15:10) → 梅の木平 (16:15) → 京王高尾山口 (16:40) 11.4 km、3:30

この項完

関東ふれあいの道を歩く (15) 神奈川 (⑮弘法大師と丹沢のみち) に続く